

あのとときの常呂・写真館

VOL 96

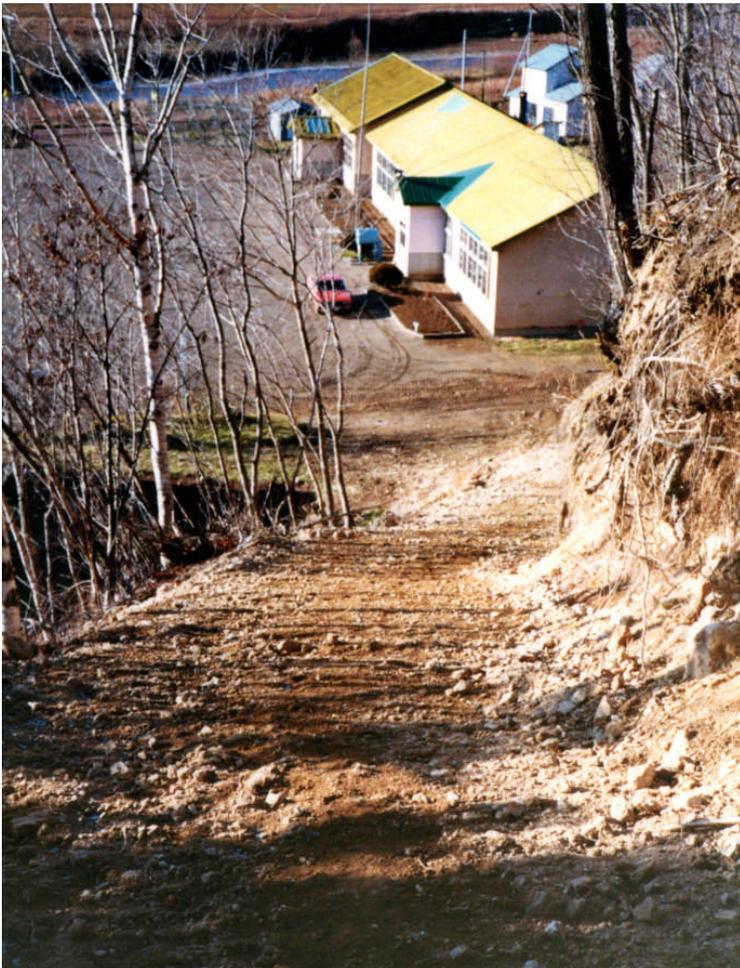
(1983年)

昭和58年8月27日 福山小学校363コース命名

▶旧福山小学校の裏山には名前のついていない小高い山があり、かつてその頂上まで散策路がありました。福山小学校開校60周年記念誌『六十年誌 ふくやま』（昭和60年12月発行）には、沿革と元教諭の思い出として、昭和58年に山頂までをPTAが中心となって木を伐採したり、トラクターで坂道を整地し、8月27日に開通、「363コース」と命名したと書いています。それ以上の情報が資料にはないので当時のPTA会長に話を伺うと、「363コース」の意味は、下から山頂までの距離が363メートルだからとのこと。また、山頂には「福山展望台」の看板がありましたが、それは福山小学校の先生たちが名づけ、設置したものです。学校の行事としてコースを登ったり、冬には下の方の直線の坂で子どもたちがソリ滑りをしたという思い出も添え、教えてもらいました。今は木で覆われてしまった「363コース」を残っている写真で紹介します。



*昭和58年8月、ブルドーザーの整地作業（上の方にブルドーザーが見える）



*この2枚の写真は昭和60年の
新校舎建設工事前、5月頃。
前ページの写真と比べると、整備
中と整備後の違いが分かります。
「363コース」整備以降、毎年
春先5月に雑草を刈る作業をして、
コース開きをしていました。

*左：坂道の途中から校舎を見下ろ
したもの



*左：上の方に「福山展望台」の看板が見えます。

*中：山頂から見える福山小学校校舎建設工事のようす

:



昭和59年5月19日の「363コース」
開きのテープカット



*左

昭和59年5月19日の「363コース」開きテープカットに続き、授業で作った小鳥の巣箱を山頂近くの木々に取り付けているところ。

*下：巣箱を取り付ける前に、「福山展望台」看板前で自作の巣箱を持って記念撮影





*平成元年5月19日、福山小学校のグラウンド開きと共に行われた
363コース開き。学校の恒例行事となっていたことがうかがえます。

